

现代 日语读解

第三卷

◆ 主编：周异夫
◆ 审校：宿久高

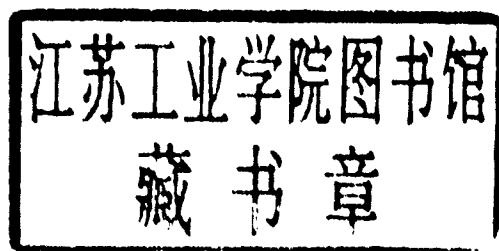
第二册

吉林大学
出版社

现代日语读解

(第二册)

主编 周异夫
审校 宿久高



吉林大学出版社

编写人员名单:

主编 周异夫

审校 宿久高

编者(按姓氏笔划排列)

仲 秋 金文峰 周异夫

於 芳 徐明真 程子香

现代日语读解 (第二册)

主编 周异夫

审校 宿久高

责任编辑、责任校对:刘子贵

封面设计:孙 群

吉林大学出版社出版
(长春市解放大路 125 号)

吉林大学出版社发行
长春市永昌福利印刷厂印刷

开本:787×1092 毫米 1/16

1998 年 12 月第 1 版

印张:15.125

2001 年 3 月第 2 次印刷

字数:371 千字

印数:5 001—8 000 册

ISBN 7-5601-2184-5/H·195

定价:19.00 元

序

周异夫同志主编的《现代日语文章读解》即将问世，这是我国日语教学界的又一幸事。

由于在一起从事日语教学工作，我有机会就本书的内容先于广大读者一睹为快，并对某些问题提出过参考意见。

“读解”是提高日语综合能力的重要环节。要读懂、正确理解日语文章，不仅仅是一个词汇问题，对作为语言环境的日本社会、文化、风习等的理解至关重要。从理论上讲，语言是客观的“物质的存在”，或具体，或抽象，但它所涵盖的即是世间一切事物。其不同的形式、排列乃至运用方式，代表着表述主体对世界的认识。一切语言如此。日语作为一种语言，有其区别于其他语言的特点。这一特点即反映了日本民族独特的思维与表达方式。而通过文章阅读来理解和把握日本民族独特的思维和表达方式，恰恰是我们学习日语的主要目的之所在。

我国的日语教学有着自己的传统和特色，培养出大批优秀的日语人才。但是，80年代中期开始的由日本国际交流基金、日本语教育振兴会主办的“日本语能力测试”在我国的实施，对我国迄今为止的传统的日语教学方式产生了影响，其试题的内容及结构，也为我们教学内容的改革与充实提供了启示。

近几年来，偶有“日语泛读”之类的教材问世，但其选材及系统性等均有不尽人意之处。周异夫同志主编的这篇文章读解教材，题材广泛，内容丰富，涉及日本的历史、社会、政治、文化、习俗、现代生活等诸多方面，通过该书的学习，可以了解日本社会及民族的各个层面；编写系统，由易到难，循序渐进，充分考虑到了学习者接受知识的渐进性；适用面广，不仅适用于作专业教材，还适用于非专业或业余学习者；科学性强，体例严谨，每个问题的设定都充分考虑问题的解答和文章理解之间的关系，并融学术性于其中。

这是一部好教材，认真研读，能收到事半功倍的效果。尤其需要提及的是参考译文部分，当读者接触到译文的时候或许会发现，整个译文的创作过程是由些许“笨拙”到精巧，由“信”到通达，进而达到“雅”（当然，或许“雅”得不够）的境地的。这种渐进，并非是编者理解原作和驾驭汉语文字的能力不足所致，而是根据学习者由浅入深的知识接受规律着意安排的。这种做法无疑拉近了学习者与教材之间的距离，从而收到良好的效果。

最后要说的是，本书的编者都是三十岁左右的青年教师。他们研究生毕业后即走上了讲坛。他们离学生最近，最了解学生，许多问题的设定可以说既是他们教学实践的总结，又是他们和学生共同的心得。所以，他们编写的教材充满了“自己尚未忘却的记忆”，是最有针对性的，而不是高空俯瞰式的。他们把自己的心得奉献给学生和日语界同仁，尽管“小荷才露尖尖角”，尽管还存在着某些不足，但他们的勤奋、严谨与对日语教育事业的执着，却实实在在地向日语界前辈、同仁展现出我国日语教育事业光辉的未来。

是为序。

宿久高

1998年9月15日于长春

前 言

众所周知,阅读是提高外语能力的重要一环。特别是由于日语词义繁多,并因场合和语境而变化,无规范性、简单化语法等特点,大量阅读文章,从中掌握语言的正确使用方法,把握语句的整体意义尤为重要。

目前,日语学习者往往找不到语言规范、难易适中、内容丰富、体裁多样的文章,难以实现通过阅读来达到补充知识、提高日语能力的目的;一些学生为准备日语水平考试盲目地做简单化的习题,从而难以实际提高自己的日语水平,收不到良好的效果。

编者在从事日语专业教学过程中,切身感受到上述问题带来的负面影响。因此从搜集的大量文章中精选出各种题材的现代日语文章 100 篇,分两册出版,各 50 篇,通过编辑、整理,提供给广大日语学习者。

本书作为日语教学与学习不可缺少的教材,主旨在于通过大量阅读,加强对词语基础知识的掌握,提高语言的实际运用能力,培养对日语的整体感性认识,加深对日本各方面状况及日本人思维方式的理解决,以达到真正掌握日语、并以其进行交流的目的。

本书文章各自相对独立,由易到难依次排列,内容丰富多样,具有很强的可读性。文中生难词汇附有语音及释义,便于阅读。

作为能力检测,每篇文章设有一套相应的测试题。所有题目接近 10 年来的日本国际交流基金主办的日本语水平测试(JPT)的标准设置。问题分基本词汇、词语使用及语法理解、内容理解等三大部分。在强调文章读解能力提高的同时,充分考虑了国际考试的规范性要求。

此外,在每册后附有参考译文和问题答案,仅供参考。

本书可供大学日语专业泛读课、大学日语阅读课及各类日语教学选用;适用于大学日语专业学生、非专业学生及各类日语学习者为提高自我日语能力的阅读;同时,文章及问题的难易程度按日本语水平测试(JPT)标准的 2 级至 1 级排列,第一册相当于 2 级水平,第二册相当于 1 级水平,是日语水平测试及大学日语四级测试、研究生日语考试等的参试者不可多得的辅助教材。

本书的编写,得到了我读研究生时的导师、中国日语教学研究会副会长、国家教委高校专业外语教学指导委员会委员、吉林大学外国语学院院长宿久高教授的精心指导,承蒙恩师审校全文并为之作序,感激之情难以言表。

在本书即将付梓之际,谨对曾给予鼎力协助的小野厚子女士,以及从前期准备阶段一直给予热情帮助和大力支持的吉林大学出版社刘岩峰先生一并表示由衷的谢意。

由于时间仓促,水平有限,书中的疏漏及不足之处在所难免,诚请日语界前辈及广大读者批评指正。

周异夫

1998 年 9 月于吉林大学

目 录

第 51 回.....	(1)	第 76 回	(89)
第 52 回.....	(4)	第 77 回	(92)
第 53 回.....	(8)	第 78 回	(96)
第 54 回	(11)	第 79 回	(99)
第 55 回	(15)	第 80 回.....	(103)
第 56 回	(19)	第 81 回.....	(107)
第 57 回	(22)	第 82 回.....	(110)
第 58 回	(25)	第 83 回.....	(114)
第 59 回	(29)	第 84 回.....	(118)
第 60 回	(33)	第 85 回.....	(122)
第 61 回	(37)	第 86 回.....	(126)
第 62 回	(40)	第 87 回.....	(130)
第 63 回	(43)	第 88 回.....	(134)
第 64 回	(47)	第 89 回.....	(138)
第 65 回	(50)	第 90 回.....	(142)
第 66 回	(53)	第 91 回.....	(146)
第 67 回	(57)	第 92 回.....	(150)
第 68 回	(61)	第 93 回.....	(153)
第 69 回	(65)	第 94 回.....	(157)
第 70 回	(68)	第 95 回.....	(162)
第 71 回	(71)	第 96 回.....	(165)
第 72 回	(74)	第 97 回.....	(169)
第 73 回	(78)	第 98 回.....	(173)
第 74 回	(82)	第 99 回.....	(177)
第 75 回	(86)	第 100 回	(181)

参考译文

51	(185)	58	(190)
52	(185)	59	(191)
53	(186)	60	(192)
54	(187)	61	(193)
55	(188)	62	(193)
56	(189)	63	(194)
57	(189)	64	(195)

65	(195)	83	(210)
66	(196)	84	(210)
67	(197)	85	(211)
68	(198)	86	(212)
69	(199)	87	(213)
70	(199)	88	(214)
71	(200)	89	(215)
72	(201)	90	(216)
73	(201)	91	(216)
74	(202)	92	(217)
75	(203)	93	(218)
76	(204)	94	(219)
77	(205)	95	(220)
78	(205)	96	(221)
79	(206)	97	(221)
80	(207)	98	(222)
81	(208)	99	(223)
82	(209)	100.....	(224)

答案	(226)
----------	-------

日本では義務教育の中学一年生から英語を習い①出しますが、これを使えるようになる人はごく少数。とくに会話の (a) 苦手ふりと ア、学校の勉強は無駄だったのかと思えるくらいです。

[A]、世界各国の外国語教育はどのように行われているのでしょうか。

まず旧ソビエト。ソ連 (b) ほうどうが相次ぐなかで、外国人記者にインタビューされて英語で答える子供が多い②のに驚かされます。ソビエトで英語教育が始まるのは、小学校の四年生からです。[B]、外国語を教える専門学校もあって、そこに入学した子供たちは、小学校二年生くらいから、高度な英語教育を受けています。

ドイツでは、ふつう小学校五年生から英語が始まり、かなりの時間を イ、重点的な教育がなされています。

母国語を愛することで有名なフランスでは、中学校から外国語が始まります。[C]、スペイン語、ロシア語、イタリア語などから (C) せんたくするようになっていきます。

一九八二年に義務教育が正式に始まったばかりの中国では、小学校五年生から外国語教育が始まります。

こうして見ると、日本はやはり英語教育が始まるのが ウ なのです。

[D]、話すよりも書く方に重点を置いたヨーロッパ式の教育ですから、これを (d) 改善する③にはコミュニケーションを重視するアメリカ型に (e) いこうしなければなりません。

日本テレビの早朝番組ですっかりおなじみになった、在日二〇年を超えるアントン・ウィツキーさんは、日本人が英語を学ぶコツについて次のように語っています。

英語を日本語で勉強するのをやめること。

外国人に (f) 興味を持つこと。

笑われても負けない強い心を持つこと。

誰と何を話したいのか目的を持つこと。

英語で考えるクセをつけること。

いつも日本人の英語コンプレックスを肌で感じとり、自らも苦勞して日本語をおぼえた人の指摘 エ、説得力があります。

その一方で、誰もかれもが英語を話したがる (g) ふうちようは異常、強い必然性をもつ人だけが習うべきだとする、冷めた見方もあるのです。

[E]、④もうしばらくは会話は (h) 自力で学ばざるをえないようで

す。

(同文書院「目からウロコの雑学集」)

問 1、下線 (a) (d) (f) (h) の語はどのように読むか、その読み方をa～dの中から一つ選びなさい。

(a) 苦手

a くて b くしゅ c になて d になしゅ

(d) 改善

a がいぜん b かいぜん c がいせん d かいせん

(f) 興味

a きょうみ b こうみ c きょうび d しゅみ

(h) 自力

a じり b じりき c じりよく d じりゅう

問 2、下線 (b) (c) (e) (g) の語はどのような漢字を書くか、その漢字をa～dの中から一つ選びなさい。

(b) ほうどう

a 放道 b 報道 c 報導 d 褒導

(c) せんたく

a 选择 b 選択 c 選擇 d 選択

(e) いこう

a 意向 b 移行 c 移項 d 以降

(g) ふうちょう

a 風潮 b 風浪 c 風説 d 風貌

問 3、文中の [A] ～ [D] に入れるのに最も適当なものをa～dの中から一つ選びなさい。

[A] a それで b そこで c では d でも

[B] a それで b だから c にもかかわらず d しかし

[C] a すると b つまり c なおかつ d ただし

[D] a なおかつ b ただし c けれども d あるいは

[E] a いずれにせよ b どうせ c どうしても d ままよ

問 4、文中の ア～エ に入れるのに最も適当なものをa～dの中から一つ選びなさい。

ア: a いたら b きたら c みたら d やったら

イ: a 割いて b 割して c 割って d 割んで

ウ: a 早い方 b やや早い方 c 遅い方 d ちょうどいい方

エ: a だけに b だけで c だけから d だけまで

問 5、①「出します」の使い方と同じものをa～dの中から一つ選びなさい。

a 図書館で、論文に必要な参考書を探し出した。

b お客様にお茶を出してください。

c あの人が話し出すと長いよね。

d 主人と子供たちを送り出してほっと一息ついた。

問 6、②「のに」の使い方と同じものをa～bの中から一つ選びなさい。

- a 駅に行くのにはどの電車に乗ったらいいですか。
- b 思ったよりうまく出来たのに安心した。
- c まえもって知らせてくれたら、きれいにしておいたのに。
- d 9月のおわりだというのに、真夏のようなあつさだ。

問 7、③「には」の使い方と同じものをa～dの中から一つ選びなさい。

- a 彼を喜ばせるには、これが一番だよ。
- b 彼がこういうには、何か理由があるでしょう。
- c 君には分かるはずがないよ。
- d 雪は翌日の朝には消えていた。

問 8、「もう」の使い方と同じものをa～bの中から一つ選びなさい。

- a 東京に来てからもう5年になる。
- b もうそろそろ帰りましょうか。
- c もう少しがまんしなさい。
- d 今からではもう遅い。

問 9、この文章の中で筆者が最も言いたかったことは何か、a～bの中から一つ選びなさい。

- a いかにして日本人の外国語が上達できるか
- b 世界各国の外国語教育事情
- c 日本における英語教育が遅れているか
- d 英語コンプレックスをなくす必要性

词汇

義務教育（ぎむきょういく）③	（名）	义务教育
ごく①	（副）	极，非常
旧ソビエト（きゅう）	（专名）	前苏联
相次ぐ（あいつ）①	（自五）	相继
驚かす（おどろ）④	（他五）	使吃惊
早朝（そうちょう）①	（名）	清晨
なじみ③	（名）	熟悉
コツ①	（名）	窍门，秘诀
語る（かた）③	（他五）	说，讲
コンプレックス④ [complex]	（名）	自卑感
自ら（みずか）①	（名・副）	自身，亲身
冷める（さ）②	（自一）	冷却，冷静

幼い頃から僕はヒーローというものを ア。プロレスラーや、野球 (a) せんしゅに 憧れ彼らをヒーローと崇めるようなそんなごく普通の少年期の経験を持ってはいないということだ。[A]、明日のジョーという漫画の主人公矢吹ジョーが好きだった程度で、それとて所詮漫画の世界のこととわりとクールだったのである。

しかし、よく考えてみると薄れた記憶の中に、一人それに当てはまる人物がいる。彼をヒーローと呼ぶのが相応しいかどうかはやや疑問だが、まあそんなヒーローもおもしろだろうとここで紹介してみる イ。「一番乗り」というあだ名を持つ彼は、僕が中学校二年生のとき、鹿児島から移ってきた転校生で (b) 本名を 原田たけいちといった。

たけいち [B] 学校に (c) 登校する のが異常に早かったのである。いつも一番乗りだった。彼①より早く学校に登校する奴はクラスの中にはいなかったのだ。[C] 彼が登校してくるところを見たことがある者がいなかったということである。一時期たけいちが学校の用務員室にでも泊まりこんでいるのじゃないか、という噂② さえ たったほどであった。

ある日、僕はたけいちがどんなに早く登校するかを知りたくて、早起きすることにしたのである。(d) せいかくな 時間はもう今は思い出せないが、いつもより一時間は早い登校だったと思う。僕にとって一時間は非常に辛い早起きだったのである。子供ながらに凄い低血圧で、[D]、深夜放送ファンだったからだ。僕は前の日、早起きの父親にたのんで ウ ことにしてねむったのである。

かくして僕はいつもより一時間早く登校することになった。誰もいない静かな廊下を僕は優越感にひたりながら踏みしめて教室を目指したのだが、なんとそこにはすでにたけいちがいたのである。たけいち自分の机に座って早弁をしていたのだ。そして彼は僕と エ 余裕で、随分早いんだね、と笑うのだった。

僕は次の日、その悔しさをバネにいつもより [E] 一時間三十分早く起きることにしたが、その挑戦は僕の低血圧が原因で (e) 自爆 となってしまった。僕にとって一時間以上の早起きは無理だったようなのである。おそるべしたけいちであった。

それから更に月日が流れて、あれは確か夏のはじめのことだったと思う。僕は深夜放送を聞きすぎて、徹夜をしてしまったのである。気がつくと時間は朝の四時三十分を少し回ったところであった。窓から覗くと、外は既に明

るく、鳥たちの鳴き声がしていた。僕はもう今から寝たら起きれないな¹と観念して、外気を吸うために外にでることにしたのである。カーディガンを羽織ってドアを開けると、なんとそこにたけいちが立っていたのだ。たけいちは肩からたすきを掛け新聞の束を持っているのだった。彼は僕を見つけると、白い歯をにっこり光らせて、随分早いんだね、というのだ。僕は正直いって面食らった。今思い返せば間抜けなことを聞いてしまったと反省するのだが、僕はそのとき反射的に、どうしてそんなことしてるのさ、と聞いてしまったのである。しかし、たけいちは肩をすぼめてみせ、恥じらうこともなく、家族のためさ、といったのだ。③これは後で判ったことだが、たけいちには父親がいなく母親と妹の三人暮らしだったのである。叔父という人が生活の扶助をしていたらしいのだが、もちろんそれだけでは足りず、彼は僕らが寝ている時間にああして家族のために働いていたのである。

僕がその日以来早起きを心がけるようになったのは オ。たけいちは立ち尽くす僕に新聞を一部手渡すと、くるりと背を見せ、その場をさっそうと走り去ったのである。原田「一番乗り」たけいち、彼は僕の中学時代の唯一のヒーローであった。

(「そこに僕はいた」新潮文庫より)

問 1、下線 (a) (d) の語はどのような漢字を書くか、その漢字をa～dの中から一つ選びなさい。

(a) せんしゅ

a 船主

b 先取

c 選手

d 僧主

(d) せいかく

a 性格

b 正格

c 正確

d 的確

問 2、下線 (b) (c) (e) の語はどのように読むか、その読み方をa～dの中から一つ選びなさい。

(b) 本名

a ほんみよう

b ほんめい

c もとな

d ほんな

(c) 登校

a とうこう

b ところ

c とうこ

d どうかう

(e) 自爆

a じばく

b じはく

c じぼん

d じっぱく

問 3、文中の [A] ～ [E] に入れるのに最も適当なものをa～dの中から一つ選びなさい。

(A) a 少なくとも

b たかだか

c けっきよく

d せいぜい

(B) a なんとか

b とにかく

c なんとなく

d すなわち

(C) a 最後に

b つまり

c 結局

d 所詮

(D) a その原因は

b それで

c おまけに

d なぜなら

(E) a もっと b さらに c また d よけいに

問 4、文中のア～オに入れるのに最も適当なものをa～dの中から一つ選びなさい。

- ア: a 持ったことがある b 持つことがない
 c 持つことがある d 持ったことがない
- イ: a ことになった b ことだ c ことにした d つもりだ
- ウ: a 起こしてあげる b 起こしてくれる
 c 起こしてやる d 起こしてもらう
- エ: a 目が合うと b 目が触れると
 c 目がぶつかると d 目が見えると
- オ: a 多少おかしかった b いうまでもない
 c 間違えない d ばかばかしく思った

問 5、①「より」の使い方と同じものをa～dの中から一つ選びなさい。

- a 今年は昨年よりずっと多く留学生が日本へ来た。
b あぶないですから、白線より内がわにさがってください。
c 父が病気だから、学校をやめてはたらくよりほかはありません。
d 学校より駅まで歩いて15分ぐらいかかります。

問 6、②「さえ」の使い方と同じものをa～bの中から一つ選びなさい。

- a 風が強いばかりでなく、雨さえも降り始めた。
b この機械は100円だまを入れさえすれば動き出します。
c これさえあれば、ほかには何もいりません。
d 雨さえ降らなければ少しぐらい天気が悪くても出かけよう。

問 7、③「これ」は何を指すか最も適当なものをa～bの中から一つ選びなさい。

- a 竹一が母親と妹と三人で食乏な生活をしていたこと。
b 竹一が家族のために働いていたこと。
c 竹一が恥じらうこともなくそういう話をした理由。
d 自分が間拔けなことを聞いてしまったこと。

問 8、「私」は原田竹一をヒーローだと思ったのはなぜか、最も適当なものをa～dの中から一つ選びなさい。

- a 彼は恥かしさなど知らない人だから。
b 彼はだれよりも早く登校するおそるべし人だから。
c 彼はまだ中学生なのに、家族のために働いていたから。
d 彼は勉強のできる転校生だから。

词汇

ヒーロー① [hero]	(名)	英雄
プロレスラー③ [professional wrestler]	(名)	职业摔跤选手
クール① [cool]	(^二 な _一 に)	冷静
あだな⑩	(名)	绰号
登校(とうこう)⑩	(名・自サ)	上学・到校

低血圧 (ていけつあつ) ③

ファン① [fun]

優越感 (ゆうえつかん) ④

早弁 (はやべん)

発条 (ばね) ①

観念 (かんねん) ①

外気 (がいき) ①

カーディガン① [cardigan]

羽織る (はおる) ②

面食らう (めんくらう) ④

窄める (すぼめる) ④

耻らう (はじらう) ③

扶助 (ふじょ) ①

立ち尽くす (たちつくす) ④

(名)

(名)

(名)

(名)

(名)

(名・自他サ)

(名)

(名)

(他五)

(自五)

(他一)

(自五)

(名・他サ)

(自五)

低血压

(运动、电影等的) 迷, 狂热爱好

优越感

应该中午吃的盒饭却提前吃

弹力

断念, 不抱希望

户外的空气

(对襟) 毛衣

披上, 套上

(因突然事件) 吃惊, 惊慌失措

缩紧

害羞

扶助, 帮助

站到最后, 始终站着

高校生のころ、私は小さな村から町の高校まで汽車で通学していました。町までは、たった二両編成の汽車が単線の(a)線路を走っていました。

広い田んぼの中に〔A〕と小さな駅が建っていて、駅前には自転車置き場と店が二、三軒あるだけでした。木造の駅舎は柱もベンチも古びて黒光りしていました。たった一つのホームへと続く改札口は、木の柵のような形をしていて、一時間に一本しかない汽車が近づいた時だけ①開けられました。改札口の上に駅員さんが行き先を書いた(b)ふたをかけながら、「お待ちせしました。〇〇行きの改札です。」と言うと、待合室の人々が〔B〕と並び始めるのでした。

町には高校がいくつかあったので、朝の駅は大急ぎで自転車を止めて駆け込んで来る学生たちであふれていました。私は毎朝少し早く来て、ある人の姿が見えるのを〔C〕と待っていました。彼は私とは別の高校の一年先輩で、話をしたこともなかったのですが、なぜか気になってしかたがなかったのです。特にハンサムではなかったけれど、ちょっと背が高く、夏の制服の白いシャツがすてきでした。彼はいつも〔D〕に来たので、私は先にホームに出て改札口の方を振り返りながら、②「あの人が私の隣に来て「おはよう」と言ってくれないかなあ。」「でも、もし本当にそうになったらどうしよう…」などと考えていました。

ある朝私は朝寝坊をして、駅に着いた時にはもう近づいてくる汽車の(c)けいてきが聞こえていました。慌てて自転車置き場に自転車を止めている時、隣に〔E〕入って来た自転車は彼のだったのです。私はびっくりして〔F〕してしまいました。「おはよう。」彼が言いました。「おはよう…ございます…」私の声は声になりませんでした。急いで改札を通って、いちばん後ろのドアから汽車に飛び乗りました。汽車の中でも私たちはすぐそばに立っていました。私は何か話したかったのですが、何をどう話していいかわからなくて黙っていました。彼も緊張しているのか、私のことなど無視しているのか、黙っていました。汽車の中の人々の目が、私たち二人を見ているような気がして、アでした。汽車が町に着いた時にはがっかりして泣きたいような、それでいて〔G〕したような気持ちでした。彼と私はちょっと目であいさつして、それぞれ別の方向へ降りて行きました。次の日からなぜか駅で彼と一緒にいることはありませんでした。

しばらくして、彼が東京の大学に進学したことを人から聞きました。私も次の年に隣の県の学校に進学して村を離れ、そのまま③そこに残って就職し

ました。三年前に会社で知り合った人と結婚して、子供も生まれました。このごろは忙しくて、村へ帰ることもめったにありません。ふるさとからの便りでは、あの単線は(d) 一昨年 廃線になってしまったそうです。汽車が来なくなった線路には雑草が(e) おい茂り、小さな駅舎だけが[H]と建っているそうです。

問 1、下線 (a) (d) の語はどのように読むか、その読み方をa~dの中から一つ選びなさい。

(a) 線路

a せんろ b せんろう c せんじ d せんみち

(d) 一昨年

a いちさくねん b いちきよねん c いっさくどし d おとし

問 2、下線 (b) (c) (e) の語はどのような漢字を書くか、その漢字をa~dの中から一つ選びなさい。

(b) ふた

a 蓋 b 札 c 板 d 版

(c) けいてき

a 警笛 b 汽笛 c 号笛 d 軽笛

(e) おい茂り

a 追い b 負い c 覆い d 生い

問 3、文中の[A] ~ [D]に入れるのに最も適当なものをa~dの中から一つ選びなさい。

[A] a ぽつり b ぽつん c ぽつつり d ぽつぽつ

[B] a ぶらぶら b うろうろ c すたすた d ぞろぞろ

[C] a 今か今か b 今こそ c 今すぐ d 今にも

[D] a きちきち b ぎりぎり c きりきり d びしびし

[E] a ざっと b すっと c ふっと d どっと

[F] a びくびく b はらはら c どきどき d わくわく

[G] a はっと b さっと c むっと d ほっと

[H] a ひっそり b ほっそり c ぽつんと d ぴったり

問 4、アに入れるのに最も適当なものをa~dの中から一つ選びなさい。

a いても立ってもいられません。

b どうしたらいいかわかりません。

c 立っても座ってもいられません。

d はずかしくてなりません。

問 5、①「開けられました」のは何か、最も適当なものをa~dの中から一つ選びなさい。

a ホーム b 改札口 c 木の柵 d 駅舎

問 6、②「あの人……かなあ」とはどういう意味か、最も適当なものをa~bの中から一つ選びなさい。

- 問7、③「そこ」は何を指すか、最も適当なものをa～bの中から一つ選びなさい。

- 問 8、この文章の内容と合うものはどれか、a～dの中から一つ選びなさい。

- 問 9、この文章の題目として最も適当なものはどれか、a～dの中から一つ選びなさい。

- ## 词汇

• 10 •